

平成31年度（令和元年度）

YURIKAGO 通信

《4月号》

H31.4 東京ゆりかご幼稚園



ご入園、おめでとうございます

幼稚園生活をスタートされますお子様の門出を心からお祝い申し上げます。子どもたちが元気に楽しく幼稚園生活を送り、心豊かに成長していけますよう、教職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思いますので、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



ご進級、おめでとうございます

在園生の方はまた一つお兄様、お姉様となりました。新しいお友だち、新しい先生と一緒に楽しい幼稚園生活が送れるよう見守って参りたいと思います。保護者の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和を生きる子ども達へ、桜に思う

今年も森の木々は鮮やかに芽吹き、樹冠にはヤマザクラが彩りを添えます。100m離れた山の上からヤマザクラの花びらが園庭に舞い降り、里山に囲まれた園庭ならではの春を感じさせます。園内にはこれまで約110本の様々な種類の桜を植えてきました。（一例：ヤマザクラ、ソメイヨシノ、ヤエベニシダレ、ヨウコウ、ウワミズザクラ、オカメザクラ、ウコンザクラ、ボタンザクラ、カンヒザクラ、オモイガワ、タイザンフクン、イトククリ等） 方々に拡散しているのと成長途上であるため、目立ちにくいかもしれませんが、毎年春に私たちの目を楽しませてくれます。

今、日本で代表的な桜と言えばソメイヨシノかもしれませんが、明治以降、ソメイヨシノが園芸種として普及するまでは、桜と言えばヤマザクラでした。ソメイヨシノは1本の木を元に接ぎ木で全国に広がっていった言わば「クローン」であるため、同じ時期に同じ環境にあるソメイヨシノが一斉に開花し、一斉に散ることは有名ですが、一度病気等にかかるると一斉に病気になるというクローンならではの弱さもあります。一方、ヤマザクラは古来より野生種として野山で育ち、それぞれの環境に適応しながら多くの変異を経て逞しく生き抜いてきました。ソメイヨシノに比べると寿命も数倍になります。

見る人の目を楽しませてくれる美しく華やかなソメイヨシノと、様々な環境に順応しながら時代を生き抜いてきた、悠々と聳え立つヤマザクラ。どちらも魅力的ですが、子どもの成長になぞらえるならば、「ソメイヨシノの様に調和を重んじ、人々の心を和ませ、ヤマザクラのように逞しく育てて欲しい」と願います。

先日、園庭の片隅にひっそりと植えてあったソメイヨシノを、園内で最も映える園庭中央（砂場横）に移植しました。エントランスから見ると園庭のソメイヨシノの奥に森のヤマザクラが見え、それぞれの良さが浮き立ちます。思えば移転前の館町の園庭にも、創設者（故内野登悦、故内野郁子）が昭和50年の設立時に植えた3本の立派なソメイヨシノがありました。今、七国の園庭ではソメイヨシノに建学の精神を思い、その他の多様な桜に子ども達の豊かな個性を重ね、「令和の時代」に育つ子ども達1人1人の成長を見守って参ります。